

学校生活のルールを知ろう

目標：学校生活のルールを理解し、「いい／だめ」を表現できる。

時間	児童生徒の活動	指導上の留意点・教材
5	1 絵カードで挨拶の復習をする。 (例)「おはようございます」「こんにちは」 「さようなら」「ありがとう」 等	・『たのしい1ねんせい』 【愛知県】 を参照する。
15	2 教室で使う指示の言葉を理解し、応答する。 ① 教師が絵カードを見せながら指示する言葉と同じ動作をするのを見る。 (例)「立ってください」 「座ってください」 ② 教師が絵カードを見せながら指示する言葉と同じ動作をするのをまねて、指示どおりの動作をする。 ③ 教師が絵カードを見せながら指示する言葉を聞いて、指示どおりの動作をする。 ④ 教師が指示する言葉を聞いて、指示どおりの動作をする。	★絵カードかイラスト(動作) ・指示どおり動作する、ということ意識しやすいように、指示の言葉を言った後、一瞬間を置いてから動作するように留意する。
20	3 「いい／だめ」を使用する場面を理解し、表現する。 ① 教師をまねて、「いい」「だめ」と言う。 ・ごみを床に投げる姿を見ながら「だめ」と言う。 ・ごみをごみ箱に入れる姿を見ながら「いい」と言う。 ② イラストを見ながら教師の質問に「いい、だめ」で答える。 ・イラストを見せながら「いい？だめ？」という教師の問いかけに「いい／だめ」で答える。 ③ 教師が見せるイラストを見て「いい／だめ」で答える。	★イラスト(正しい行いとよくない行いのイラスト) ・場面が学校(教室)であることを理解させるとよい。 ・イラストを示し「いい／だめ」を答えさせる。 ・テキストの場合は、指で押さえながら言う。 ・授業時間等、時間帯によって可否が変わることもあるが、ここではあまり触れないようにする。
5	4 イラストや先生の動作を見て、先生にお願いする表現を理解する。 (例)トイレに行きたい時は、「先生、トイレ」 のどが乾いた時は、「先生、みず」	

凡例：・留意点 ★教材